

はぐくみ通信

令和7年11月28日発行 第4号

文責：寄宿舎研修部 橋 内 守

日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。
早いもので今年も残すところ1か月となりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしですか。
さて、今回は「寄宿舎教育の魅力」についてご紹介していこうと思います。

【寄宿舎での教育って？】

令和4年度（2022年度）、道立特別支援学校67校のうち41校に寄宿舎を設置し、日常生活に必要な基本的生活習慣の確立や、社会生活に必要とされる円滑な対人関係や規範意識の向上などを目指した生活指導を行っている。

（特別支援教育に関する基本方針 R5～R9 /北海道教育委員会/引用）

★寄宿舎では毎日、主に日常生活に関わる指導を行っています。

→（例）洗面、歯磨き、食事に関わること、排せつに関わること、入浴に関わること・・・等々。

★個別の指導計画を作成し、一人一人の児童生徒に応じた指導を行っています。

★学部や学年に関わらない集団で、毎日、生活をしています。

→異年齢集団での教育を実践しています。

★生活空間は男女に別れており、各部屋（舎室）、食堂、娯楽室、浴室、トイレ等々、各学校によって異なりますが毎日の生活に必要な設備が整えられています。

魅力はズバリ！！

年齢も異なり、できること、できないことも違う子ども達が共に学び合う場であるところが寄宿舎の最大の魅力です！！

兄弟、姉妹のいらっしゃるご家庭において、下のお子様が上のお子様を見て、できることでも真似をしてやろうとすることがありますよね。また、上のお子様が下のお子様に教え、一緒にやってくれることもありますよね。このような環境が子どもの成長に繋がると言われています。

「今日できないことは適切な支援があれば明日できるようになる。」という言葉があります。寄宿舎では職員が教えることはもちろんですが、子どもたち同士の関わりの中で成長する環境があります。子ども達が共に学び合う場・・・子ども達自身が「自分でできた！！」と実感できると次に繋がりますよね！！

今回は寄宿舎の魅力についてご紹介させていただきました。